



郷土資料展示室（校舎棟）



昭島の貴重な民具などを展示し、実際にお手に触れていただけます。ご覧になりたい方は、スタッフまでお申し出ください。



ご利用にあたって

- * 両室とも入場無料です。
- * シアターでは、一般利用のない時間帯に、市内に受け継がれてきた有形・無形文化財や歴史・自然に関する映像を上映します。なお、以下のQRコードから、同映像のほか様々なデジタル化資料が公開されている昭島市デジタルアーカイブズ「あきしま 水と記憶の物語」のWebサイトにアクセスできます。
- * 団体見学をご希望の方は、スタッフまでご相談ください。休室日も受け付けます。



お願い | 貴重な資料を守るためご協力ください。



通話禁止 フラッシュ撮影禁止 傘の持込禁止 飲食禁止 補助犬は可



開室時間

- * 郷土資料室
火～金 10:00 - 20:00
土日祝 10:00 - 18:00
- * 郷土資料展示室（校舎棟）
火～日・祝 10:00 - 17:00

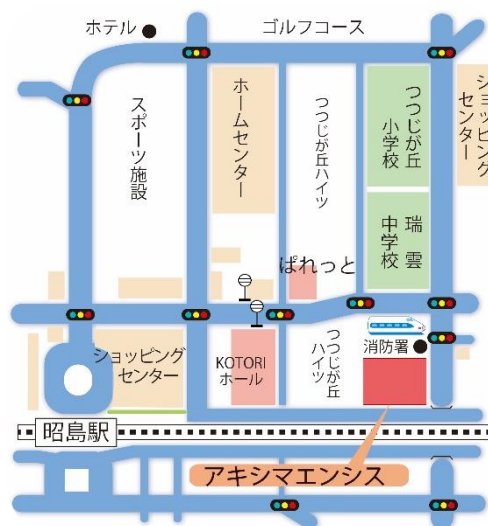


休室日

月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始、特別整理期間



アクセスマップ



- * JR青梅線昭島駅より徒歩10分
- * 立川バス（昭21・22・23・24・26系統）「昭島市民会館」より徒歩5分

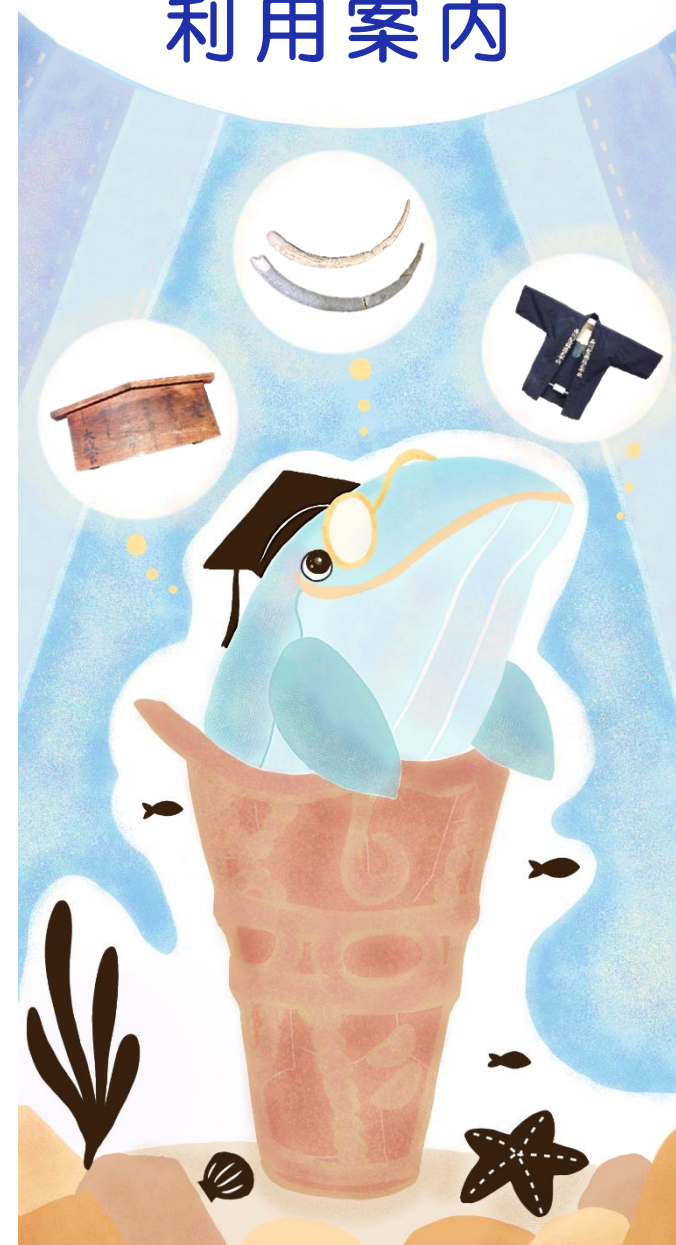


お問合せ

- * 昭島市郷土資料室・郷土資料展示室
住 所 〒196-0012 昭島市つつじが丘3-3-15
アキシマエンスシ内
TEL 042-543-1523（市民図書館共通）
FAX 042-542-8002（市民図書館共通）
ホームページ
<https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage/>

- * 昭島市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 文化財係
住 所 上記に同じ
TEL 042-519-5717（休室日のご連絡はこちら）
FAX 042-519-7456

昭島市郷土資料室 郷土資料展示室 利用案内

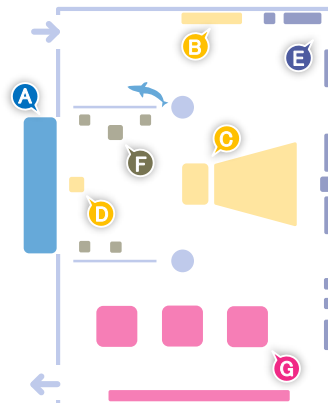


アキシマエンスシ

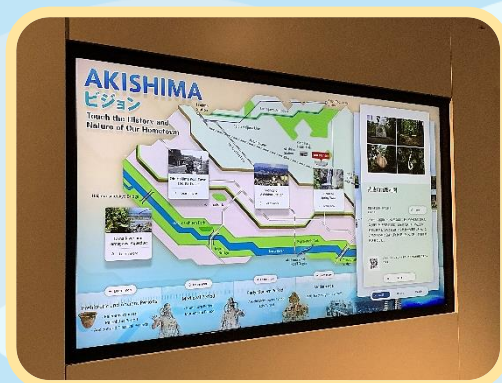


昭島市郷土資料室について

水資源に恵まれた昭島の地は、豊かな自然と共に、古来より多様な歴史・文化が育まれてきました。郷土資料室では、昭島の歩みに想いをはせていただけるような資料展示に加え、ICTを活用した展示を行っています。また、学芸員による展示解説で、様々な視点からふるさとをご紹介します。教育福祉総合センターの愛称「アキシマエンス」は、昭島市のシンボルであるアキシマクジラの学名エスクリクティウス アキシマエンス (*Eschrichtius akishimaensis*) に由来し公募により決定されました。当室と館内では、里帰りしたアキシマクジラ化石並びに全身骨格レプリカ、生体復元模型を特別に展示しています。



A. アキシマクジラが生きていた頃の昭島の古環境

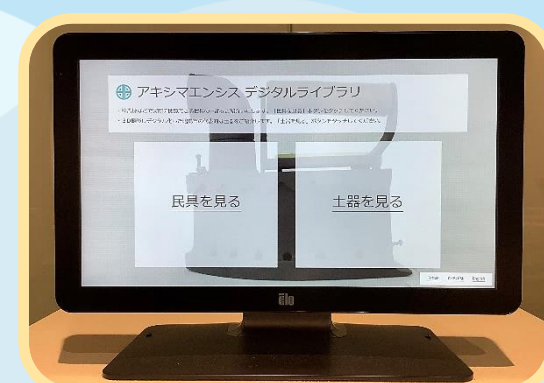


B. AKISHIMAビジョン

86インチのタッチパネルで、昭島市の史跡・自然や魅力について、地域や時代ごとに見ることができます。



C. AKISHIMAプレート | 「蘇るアキシマクジラ」「くらしと水の物語」
それぞれのカギとなるアイテムを見つけてタッチすると、超大型スクリーンに2つの物語が上映されます。



D. アキシマエンス デジタルライブラリ

校舎棟で展示されている民具資料の一部にアクセスできます。また、昭島の代表的な土器を3Dで自由に回転して閲覧できます。



E. 「刻」に想いをはせる

多摩川の流れと共に、湧き水の恵みに支えられた先人の暮らしや信仰を伝える資料などから、ふるさとが歩んだ道筋を辿ります。



F. 「形」に想いをはせる

縄文土器を中心に、古来より育まれたものづくりの精神を垣間見ます。



G. 「祭」に想いをはせる

日吉神社の祭礼で屋台の上に立てられる、拝島の加美町・奈賀町・志茂町三町の屋台人形を中心に展示しています。